

# 組合員の満足と 地域社会のために

福井県民生協第8次中期計画ダイジェスト  
(2010年～2014年)

## 第7次中期計画の評価 (2005年～2009年)

### 実現できたこと

- 事業ネットワークが広がり、世帯加入率は46.7%(全国6位、無店舗では1位のポジション)となり、全体事業高も200億円に近づきました。
- ハーツはるえ、学園、たけふの3店をオープンし、無店舗事業と店舗事業の併用利用が広がり、「ステップ30(年間利用高30万円)」以上のコア組合員が20,400人になりました。
- 高齢者介護事業拠点を6ヶ所新設しました。小規模多機能、認知症デイ、介護タクシーを新たに開始し、利用者が1.2万人と大幅に増えました。
- 子育て支援施設ハーツきつずを新たに4ヶ所店舗に併設し、利用者は年間4万人となりました。
- 生協法改正を受け、たすけあい共済の元受返上とせいきょう共済の廃止を行いました。
- ハーツを利用できないエリア、中山間地域を対象に移動店舗事業「ハーツ便」をスタートしました。
- 冷凍きょうざ事件を教訓に安全確認業務の強化、全国に先駆けて原材料の原産国表示や携帯メール配信の導入など、食の安全・安心システムの再構築に取り組みました。
- 店舗や福祉施設を中心に自主・自発の組合員活動が広がり、参加数は年間6万人と3倍に増えました。
- 県民生協のリーダーシップが実を結び、ハーツの所在する全自治体でレジ袋無料配布中止が実現しました。
- 2005年度福井県経営品質賞、2007年度日本経営品質賞(大規模部門)を受賞しました。

### 課題

- 基盤となる無店舗事業の規模が縮小し、商品企画や事業システムの抜本改革が課題です。
- 食の安全・安心に対する信頼回復が進みましたが、リスクを予兆し、未然防止につなげる仕組みづくりが継続課題です。
- 経常剰余金が共済分離の影響もあり低下しています。店舗や福祉は既存事業所の経営改善が進っていますが、赤字であり、基盤の強化が重要な課題です。

## 5年間の推移 (2004年度→2009年度)



## 県民生協がめざす理想的な姿

組合員の満足と地域社会のために、「食と福祉と助け合い」の事業と活動のネットワークによるシナジー効果を発揮し、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員の協力の力で高い志を持って挑戦し続ける

## 大切にしたい組合員価値

安全・安心の価値  
お役立ちの価値

参加・参画の価値  
安定した経営の価値

### 4つの組合員価値に基づく具体的な取り組み

組合員価値	めざす姿	目標(09年度→14年度)	具体的取り組み
安全・安心の価値を高めるために	食の安全・安心のシステムをさらに強化します。	<b>開発商品</b>  09年度 22品目 / 14年度 200品目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地場産地・メーカーから組合員に届くまでの一貫したトレース(追跡)ができる商品開発に取り組みます。</li> <li>●店舗での福井県版HACCPの取得、産直生産者を重点に県民生協版GAP(適正農業規範)の仕組みを拡大していきます。</li> <li>●ISO10002(苦情処理対応マネジメントシステム)を導入し、組合員対応レベルを高め、リスクの早期発見と危害の拡散防止に努めます。</li> </ul>
	くらしの安全・安心のネットワークを構築します。	<b>産直比率</b>  09年度 51.3% / 14年度 60%	
参加・参画の価値を高めるために	生協参加を広げ、利用参加のステップアップを図ります。	<b>組合員数</b>  09年度 128,945人 / 14年度 138,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無店舗の基盤拡大、店舗の計画的な出店を進め、組合員138,000人、県内世帯加入率50%を目指します。</li> <li>●店舗を拠点に情報発信を強化し、無店舗組合員の来店促進、共済や福祉事業のネットワーク利用を促進します。</li> </ul>
	利用参加をベースに、活動参加、運営参加のステップアップをめざします。	<b>世帯加入率</b>  09年度 46.7% / 14年度 50.1%	
	店舗や福祉施設を拠点とした地域とのネットワークづくりを進めます。	<b>運営参加人数</b>  09年度 5,800人 / 14年度 9,200人	
お役立ちの価値を高めるために	事業ネットワークを強め、コア組合員を拡大します。	<b>活動参加人数</b>  09年度 60,000人 / 14年度 100,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総代とのコミュニケーションを強め、総代会議への出席率アップや運営参加を促進します。</li> <li>●ハーツのモニター活動や移動店舗でのつどい、福祉事業家族の会など、幅広い運営参加の仕組みを作ります。</li> </ul>
	無店舗事業(共同購入・個人宅配)の再成長を目指します。	<b>事業高</b>  09年度 196億円 / 14年度 255億円	
	店舗事業(ハーツ)の強化に取り組みます。	<b>ステップ30以上のコア組合員数</b>  09年度 20,389人 / 14年度 30,500人	
	移動店舗事業を第3の供給事業の柱に育てます。	<b>無店舗毎回利用組合員</b>  09年度 31,000人 / 14年度 34,100人	
	共済事業の充実を図ります。	<b>週2回以上来店者</b>  09年度 6,315人 / 14年度 10,000人	
	高齢者介護事業の拠点を拡大し、サービスの拡充を図ります。	<b>移動店舗年間利用者</b>  09年度 25,560人 / 14年度 548,400人	
	子育て支援事業の拠点を拡大し、サービスの拡充を図ります。	<b>共済加入件数</b>  09年度 61,619件 / 14年度 86,000件	
	事業ネットワークの展開を支える経営基盤の強化を図ります。	<b>高齢者介護利用人数</b>  09年度 30,435人 / 14年度 57,226人	
安定した経営の価値を高めるために	人財の計画的な育成強化を図ります。	<b>子育て支援事業利用人数</b>  09年度 43,590人 / 14年度 68,800人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「終身共済」をスタート(2011年)し、生涯保障を実現していきます。</li> <li>●県内全エリアで在宅介護サービスを展開します。新たにグループホームや居住系サービスを展開します。(新規4施設)</li> <li>●さらに事業や活動のネットワークで高齢者自立支援サービスを展開します。</li> </ul>
	創発と共創を生み出す組織風土づくりに取り組みます。	<b>経常剰余率</b>  09年度 0.9% / 14年度 3.4%	
	リスクマネジメントの強化に取り組みます。	<b>労働生産性(月)</b>  09年度 660千円 / 14年度 739千円	

# 地区別 事業ネットワークの展開計画

	第1地区 (福井・坂井・奥越)	第2地区 (丹南)	第3地区 (敦賀・若狭)	全体
無店舗 配送センター 4センター→4センター				畜産 PC (バックセンター) (既存施設) 
店舗ハーツ は新店 6店舗→9店舗 リニューアル3店舗	 			
移動店舗 ハーツ便 は新規車両 3台→20台	  	 	 	
高齢者介護 きらめき 施設・事業所 は新施設 新事業所 8事業所→11事業所	  			
子育て支援施設 ハーツきつず は新施設 6施設→9施設	 		 (敦賀はNPO)	

## 5年後の計画 (2009年度→2014年度)

